

ご使用にあたって

- 本製品は、薄膜のシート抵抗を測定するための 4 探針ケーブルです。
- 薄膜を傷つけないように探針は、先端が R 形状のロジウムメッキされたスプリングプローブです。
- 探針部はデリケートなので取扱には御注意下さい。
- 接続方法を間違えたり、高電流を流したりすると破損することがあります。
- シート抵抗測定以外の用途にはご使用にならないで下さい。

<1> デジタルマルチメータと接続します。

4 線抵抗測定モードでそれぞれ V を電圧測定端子、I を電流測定端子につなぎます。

<2> デジタルマルチメータの測定モードを 4 線抵抗測定モードにします。

<3> 4 探針を止まる位置まで薄膜に押しつけます。

- SR4-J の場合は表示値に補正係数を掛けてください。
薄膜の場合、通常補正係数は 4.24 です。
- SR4-S、SR4-SS は製造誤差や配置で補正係数が異なるため、個別に補正係数を書いてあります。

※ 4 探針抵抗測定の方法は、お手持ちのデジタルマルチメータの取扱説明書をご参照下さい。

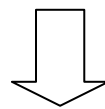
※ 小さいサンプルでは形状の影響により誤差がおおきくなりますので、5cm□以上できれば 10cm□以上での測定を推奨します。

※ 測定精度は、デジタルマルチメータの測定精度により異なります。膜の特性によっては測りにくいものが存在します。本ケーブルが全ての薄膜に対しての測定を保証するものではありません。

※ 数字が安定しない場合の対処方法

- ① オートモードを解除し、マニュアルでレンジの設定をすると安定する場合があります。
- ② フィルター機能がある場合は使うと安定することがあります。
- ③ ディレイタイムが速いと測りにくいことがあります。この場合には 0.1s 程度まで遅くしてください。
- ④ 測定者にアースを取ってください。(特に冬季は静電気の影響が出やすくなります。)
- ⑤ SR4-S、SR4-SS の場合は SR4-S・SR4-SS 用ホルダーをご使用になるとより安定した測定ができ便利です。

※ 探針が汚れた場合はエタノールで軽くふき取って下さい。



プローブ全体を止まるまで薄膜に押しつけます



アステラテック 株式会社

〒214-0034

神奈川県川崎市多摩区三田 2-3227 明治大学地域産学連携研究センター 301 号室

TEL: 044-299-7512

FAX: 044-299-7514

E-mail: contact@astellatech.co.jp

URL: http://www.astellatech.co.jp